

第4次昭和区地域福祉活動計画の推進

区民のみなさまや地域の各種団体、ボランティア、福祉施設・事業者職員、保健・医療・福祉関係の専門職、行政職員などにより構成される推進プロジェクトチームにおいて取り組み内容について具体的に話し合いながら取り組みを実行していきます。

区民のみなさま、地域の各種団体、ボランティア、福祉施設・事業者職員、保健・医療・福祉関係の専門職、行政職員など

参加
協力

推進プロジェクトチーム

- ・取り組み内容の具体的な検討
- ・取り組みの推進(実行)

身近な地域での
つながりづくり

支えあいの
活動づくり

学びあいの
場づくり

分野を超えた支援の
ネットワークづくり

個と地域の一体的
支援のしくみづくり

つながり
プロジェクトチーム

ささえあい
プロジェクトチーム

まなびあい
プロジェクトチーム

セーフネット
委員会

事務局
プロジェクトチーム
(区社会福祉協議会)

連携
協働

地域福祉推進の
基盤づくり

学区
社会福祉協議会

個別の福祉課題の解決
お互いに支えあう地域づくり

※地域(学区)の実情に合わせて取り組む

計画の期間

令和元年度～令和5年度(5年間)

※年度ごとに取り組み内容の評価と見直しを行いながら進め、最終年には評価委員会を設置して取り組みの成果と課題の確認を行い、その結果を次期計画の策定作業に反映します。

社会福祉法人 名古屋市昭和区社会福祉協議会

〒466-0051 名古屋市昭和区御器所三丁目18番1号

TEL 052-884-5511 FAX 052-883-2231

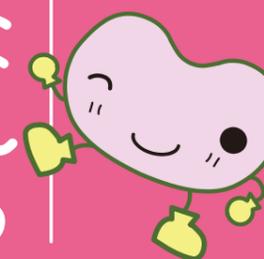
<http://www.showaku-shakyo.jp/>

第4次昭和区地域福祉活動計画 概要版(令和元年6月)

地域
づくり

誰か
の力に
なれる

誰も
が



第4次
昭和区地域福祉
活動計画

(令和元年度～令和5年度)

第4次昭和区地域福祉活動計画策定委員会・作業部会
社会福祉法人 名古屋市昭和区社会福祉協議会

重要項目
1 つながり
プロジェクトチーム

身近な地域での つながりづくり

地域住民同士のつながりをつくることで、“困った時に気軽に相談できる”、“困りごとを抱えている人に気づく”関係性へと発展させていきます。

- とりくみ ① サロンに関わる人たちの資質の向上をはかる
- とりくみ ② 地域住民とサロン等地域活動との接点をつくる
- とりくみ ③ 福祉施設を活用したサロンの開催 ☆
- とりくみ ④ 子どもの居場所について地域の各種団体に啓発する
- とりくみ ⑤ 学齢期の子どもに関わる団体・機関のネットワークづくり



重要項目
2 ささえあい
プロジェクトチーム

支えあいの活動づくり

学区などにおける見守りや支えあい活動を広げることで、日頃から災害時まで安心して暮らせる地域づくりを進めます。また、福祉施設・事業者と連携することで、地域住民だけでは解決しづらい困りごとなどに対応し、地域の福祉力を高めます。

- とりくみ ⑥ 身近なところで相談できる地域づくり ★
- とりくみ ⑦ 地域(町内など)での見守りの活動の促進 ★
- とりくみ ⑧ 地域で活動する人を支える仕組みづくり ★
- とりくみ ⑨ 福祉施設・事業者の地域の支えあいの活動への参加 ★ ☆
- とりくみ ⑩ 分野や種別を超えた福祉施設・事業者連絡会の開催 ☆



重要項目
3 まなびあい
プロジェクトチーム

学びあいの場づくり

“教える”、“教えられる”の関係性ではなく、地域における活動の中に“学び”があるという視点から、学区社会福祉協議会の活動や学校での福祉教育の場など様々な人と交流する機会を大切にしていきます。

- とりくみ ⑪ 学区と福祉施設がお互いの活動を知る機会の設定 ★ ☆
- とりくみ ⑫ 地域行事や活動への福祉施設利用者等の参加 ★ ☆
- とりくみ ⑬ 地域住民と一緒に取り組む学校での福祉教育の実施 ★
- とりくみ ⑭ 小中高生の地域活動への参加促進 ★
- とりくみ ⑮ 福祉について学ぶ機会の設定(福祉教育セミナー等) ★



計画が目指すもの・理念

「誰もが誰かの力になれる地域づくり」

「総合相談・包括的支援の体制づくり」

- ① 安心してあたりまえに暮らせるまち
- ② みんながふれあいつながれるまち
- ③ お互いにささえあい助け合えるまち



重要項目
4 セーフティネット委員会

分野を超えた支援の ネットワークづくり

複合的な課題を抱えた人や世帯を支援するため、制度や分野ごとの縦割りを超えた保健・医療・福祉の連携を進めます。

- とりくみ ⑯ 分野を超えた専門職の連携の推進
- とりくみ ⑰ 地域の活動者と専門職の協議の場づくり



重要項目
5 事務局プロジェクトチーム
(区社会福祉協議会)

個と地域の一体的 支援のしくみづくり

区社会福祉協議会が地域支援、在宅サービス、包括的支援の3つの機能を最大限に発揮し、個人の課題を地域全体の課題として一体的に解決に向けて取り組む“総合支援型”による支援を展開します。

- とりくみ ⑱ 職員班活動(学区担当)の推進
- とりくみ ⑲ 地域の社会資源の把握と集約
- とりくみ ⑳ 総合的・包括的な事業実施(14事業)



重要項目
6 学区社会福祉協議会

地域福祉推進の基盤づくり

学区など小地域における事業や活動への協力や支援を進めるとともに、学区を超えた情報交換の機会を設けることで、地域福祉を推進する基盤をつくります。

- とりくみ ㉑ 学区社会福祉協議会同士のつながりづくり
- とりくみ ㉒ 地域における課題の共有と計画的な活動の推進
- とりくみ ㉓ ふれあい・いきいきサロン活動やふれあいネットワーク(見守り)活動、地域支えあい事業における内容の充実

注)★:学区社協の取り組みに関連する項目 ☆:福祉施設・事業者の取り組みに関連する項目

